



区民の暮らし支える区政を

北区議会第2回定例会

福島宏紀議員が代表質問



質問する福島宏紀区議 = 19日、北区議会

19日、北区議会第2回定例会が開会しました。初日の本会議には、福島宏紀議員が代表質問に立ち、日本共産党北区議員団が求めてきた予算組み替え提案の実現を訴えました。

保護基準引き下げに反対を

政府が今年10月から

福島議員はまず、北区の生活保護行政について質問。花川区長は冒頭、「このたび、生活保護費の横領という、あつてはならない事件が発覚したこと、区の最高責任者として深くお詫び申し上げます」と謝罪しました。

生活保護基準を引き下げようとしていることに対し福島議員は、「総額210億円の削減。安倍自公政権のもとでは計1480億円の削減で、ひとり暮らし高齢者の生活費は約9万円から7万円になる」と告発、引き下げをやめるよう政府に求めよと迫りましたが、区長は「生活保護基準は専門的・科学的見地から

検証したものの「などと、引き下げを容認する答弁に終始しました。一方、住所のない方などが保護

を受ける際にあつせんされる無料低額宿泊所について、区長は「住宅生活へ移行するための一時的な場所と考えており、利用が長期化しないようアパート等への転居を原則とする」とのべました。

共産党の予算組み替え提案実現を

また福島議員は、北区新年度予算への日本共産党議員団の組み替え提案のうち、①みなし寡婦世帯への非課税制度の適用、②就学援助入学準備金の増額、③学童クラブの待機児解消、④保育所の待機児解消、⑤教員の働き方の改善とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門職の増員と正規職員化、を実現するよう区に求めました。

災害への備えを 赤羽消防団 消防操法大会

17日、赤羽小学校校庭で赤羽消防団の消防操法大会がおこなわれました。7つの分団の選手たちが住民や来賓の前で日頃からの訓練の成果を発揮し、手際よくポンプ車からの放水で火を消し止める操法を実演しました。(のの山けん)



